

次期学長に求められる資質・能力

平成27年2月2日

国立大学法人信州大学学長選考会議

国立大学法人信州大学（以下「信州大学」という。）の次期学長は、信州大学が掲げる理念・目標を尊重しつつ、今後人口減少、高齢化、グローバル化などが一層進み急速な変化が予想される社会経済状況のなかで、特色ある大学として社会の期待に応えられる役割を目指して大学を運営していくことが期待されます。なかでも、現在進められている「信大改革」を引き継ぎさらに発展させるため、次のような方向性とそれを踏まえた具体的達成目標に取り組むことが求められます。

- (1) 教員の人事の流動性を確保し、戦略的な人事と全学的な教育研究マネジメントを生かして、信州大学の教育研究の一層の高度化を追求していくこと
- (2) 「国立大学改革プラン」及び「ミッションの再定義」等を踏まえつつ、中期目標・中期計画が大学の「社会・国民に対する公約」であるとの認識に立ち、「第3期中期目標・中期計画」で掲げる目標・計画を着実に実行し、その評価を高めるべく努めること

そのために、学校教育法及び国立大学法人法改正等の趣旨を踏まえて、信州大学の最高責任者として、大学の効果的な運営と継続的な教育及び研究の高度化にリーダーシップを発揮できるよう、次期学長には次のような資質・能力が求められます。

1. 学内外から敬意と信頼を得ることができる高潔な人格と優れた学識を有すること
2. 信州大学の強み・特色を生かしつつ、大学が掲げる理念・目標の達成を目指すための明確なビジョンとそのための具体的な方策を持っていること
3. 前述したような、「信大改革」を引き継ぐ方向性と、第3期中期目標・中期計画の達成などを含む信州大学の評価向上に強い意欲と、そのための具体的な方策を持っていること
4. 社会の動向と、社会が大学に求める要請を的確に把握して大学の舵取りに生かすとともに、信州大学が目指す方向性について社会の各界から幅広い理解と協力を得るための発信力と実行力を有すること
5. 学校教育法及び国立大学法人法改正等にもられた大学のガバナンス改革とコンプライアンス強化の趣旨を踏まえて、効果的、機動的な大学運営をおこなうための組織運営能力とリーダーシップを持っていること
6. 信州大学構成員の幅広い層から創意工夫のインセンティブを引き出すためのコミュニケーション力を有すること

信州大学の理念・目標

○理 念

信州大学は、信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。

信州大学は、その知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成と活性化に奉仕します。

信州大学は、世界の多様な文化・思想の交わる場所であり、それらを理解し受け入れ共に生きる若者を育てます。

信州大学は、自立した個性を大切にします。

信州大学で学び、研究する我々は、その成果を人々の幸福に役立て、人々を傷つけるためには使いません。

○目 標

【教 育】 かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てます。

【研 究】 人類の知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展を目指した独創的研究を推進し、その成果を地域と世界に発信し、若い才能を引きつける研究環境を築きます。

【地域貢献】 信州の自然環境の保全、歴史と文化・伝統の継承・発展、人々の教育・福祉の向上と産業発展の具体的課題に貢献するため、大学を人々に開放し関連各界との緊密な連携・協力を進めます。

【国際交流】 諸外国から学生・研究者を積極的に受け入れ、世界に開かれた大学とし、信州の国際交流の大きい推進力となります。